

全員の方で西鈴祭盛り上げ 「感動と喜び」を分かち合う

西根第一中学校の文化祭が開かれる



展示会場には美術作品などが並べられました



3年生の劇「名探偵は二人ぼっちファイナル」

芸術の秋。市内小中学校で、文化祭や学習発表会が行われました。

西根第一中学校では10月14日、同校で「西鈴祭」を開催。テーマに「Share」感動を分かち合うために」を掲げ、仲間とともに文化祭を成功させようと、一人一人が取り組んできました。

舞台発表では、開祭式に続いて、学年ごとの演劇発表が行われました。1年生は「ふとつた殿さま」、2年生は「マイライフ」を熱演。3年生は「コメディイ劇」名探偵は二人ぼっちファイナル」を発表しました。脚本は同学年のオリジナルで、主人公の探偵・小田と中田の「迷コンビ」が、一ノ瀬家で巻き起



学年全体で合唱を披露し、体育館いっぱいにハーモニーを響かせる3年生

この事件を解決する物語。テンポのよいストーリーで、会場を魅せました。

午後からは、合唱コンクールが行われました。学級ごとに練習を重ねてきた課題曲と自由曲の2曲を披露。生徒たちは、体育館いっぱいに美しいハーモニーを響かせました。教室には、父母や地域の人たちに日ごろの学習の成果を見てもらおうと、たくさん作品が展示されました。

みんなの作品 ～平館小～



1年 たかはし ひかる
高橋 暉くん

工作
「カエルロボット」



1年 ささき りく
佐々木 陸くん



絵画 「大きなカップ」



3年 さとう みずほ
佐藤 瑞帆さん



絵画 「ホタルぶくろの花」

ZOOM UP



「国体3位に満足しない。課題は見つかった。強くなりたい」佐々木智康選手の目は、もっと上を見ている。県、東北とレスリング少年84級を制した。万全の態勢で国体に挑む。初戦、2戦目と順当勝ち。準決勝で、今大会優勝した永田選手と対戦した。「持ち味を出せなかった。完敗だった」。智康選手が、レスリングを始めたのは高校から。中学では相撲に打ち込んだ。相手の腕を取り、圧力をかけながら、前へ出てタックルを決める彼の持ち味は、中学時代の押し相撲がルーツだ。3年間、朝夕と練習に明け暮れた。「レスリングを通して肉体的にも精神的にも強くなれた」と彼はレスリングを愛し、後輩たちにもエールを送る。「決勝のサークルに立つ誇りが忘れられない」。彼は大学へ進学して、体をつくり直し、技を磨く決心をした。大舞台の決勝で、前に出るプレースタイルを貫き、躍動する彼の姿が目に浮かんだ。



佐々木智康くん

●ささき・ともやす 平館小、西根第一中を卒業後、盛岡工業高校電気科に進学。現在3年生。県中学校相撲大会で準優勝した体格を生かし、レスリング部の門をたたく。今年は県高校総体、県民体、東北高校総体と少年84級を総なめ。レスリング部の主将を務め、部員をまとめる。好きな選手は、総合格闘技からアマレスに転身した山本「KID」徳郁。趣味は釣り、ギター。性格はおおらかなO型。身長176cm、体重86kg。両親、兄、祖母の5人家族。堀切地区。

広報クイズ No.14 11月2日号の問題

八幡平地域が 国立公園に指定されて、今年で何周年？

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りしますので、どしどしご応募ください。

◎応募方法 はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢、行政区」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。

◎応募期限 11月17日(金) 消印有効

◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」

☆はがき 〒028-7192(住所不要) ☆ファクス 75-0469

☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp

*メールのタイトルに必ず「広報クイズ」と入力してください。

◎第13回の正解 「5,056人」 ◎応募者数 16人 ◎正解者数 16人

◎当選者 武藤夏穂さん(大更)、伊藤サトさん(田頭)、山口大陸さん(野駄)